



富士宮市立柚野小学校

出前授業レポート

「実物に触れ、地域のことが分かり、どの子どもも満足したようです。」

富士宮市立柚野小学校の6年生22人が、柚野地区の歴史や遺跡について知ることを目的に、総合的な時間「柚香」を使って、発掘調査と周辺の遺跡の話、土器の分類、石器の試し切りの3つの体験を行いました。

発掘調査と 周辺遺跡の話



初めに、発掘調査がどのように行われているのかについて話しました。次に、柚野地区周辺の遺跡について具体的に話しました。特に、柚野小学校が遺跡の上に立っていることや、大鹿窪遺跡、千居遺跡は、国指定の遺跡で、大変貴重な縄文時代草創期の遺跡であることなどを伝えると、子どもたちは、熱心にメモを取っていました。



「富士宮にたくさんの遺跡があって、自分たちの周りにも、遺跡があることがわかって良かった。」

土器の分類体験



社会科の授業で、縄文時代から古墳時代はずでに終わっているため、縄文土器と弥生土器の特徴などは分かっていましたので、早速分類することにしました。5分間で大まかに分類した後、作り方の違いが土器の違いに影響していることを聞いて、確認し直しました。違いに戸惑う子どもたちもいましたが、最後は分類できました。

「土器の作り方が違うことが分かった。」

「古墳時代の土器が須恵器だとわかった。」

石器の試し切り体験



「運動場に穴を掘ったり、木を切り倒すには、どうすればいいのだろう？」の設問に、「スコップで掘る」の答え。「大昔、金属がない時代はどうしたのだろう？」の設問には、「手で掘る」「石を使う」と答え、石が大切な役割を果たしていたことを確認し、打製石器や磨製石器、黒曜石などを使っていたことを伝えました。そして、石の切れ味を試すことにし、石で紙や野菜が切れることに驚き、野菜をみじん切りにしている子どももいました。

「昔の人は、石だけで生活していてすごいと思った。」

佐野先生の感想

「歴史で学習したことを振り返ったり、総合の時間で知られられなかったことを知れたりする良いきっかけとなりました。停滞気味だった総合の時間がまた活発になりそうです。2時間たっぷり体験できてとても良かったです。パワーポイント資料、土器等の実物を見せながら説明して下さったので、よく分かりました。資料があるサイトを教えていただいたので、今後自分たちでも調べてみたいと思います。実物に触れ、地域のことが分かり、今後調べてみたい方向性が決まってきたようです。担任が教えるのと専門的な知識がある方が教えるのでは、子どもの真剣度、熱中度が違うなと感じました。どの子どもも満足したようです。」

